



日本遺産 Japan Heritage

Vol.
2

「国境の島 壱岐・対馬・五島～古代からの架け橋～」 内海湾(壱岐市)

長崎県の「しま」は、古代から日本本土と大陸を結ぶ海上交通の要衝、対外交流の拠点として重要な役割を果たしてきました。

内海湾は、「一支国」の王都・原の辻を訪れる古代船が往来した玄関口で、原の辻に向かう人々は、この湾で小船に荷物を積み替え、幡鉾川を遡って移動しました。

湾内には、神が宿る島として崇められ、島全体が境内となっている小島神社があり、恋愛成就、商売繁盛、五穀豊穰、航海安全などの願いが叶うとされる御祭神が祀られています。島へは、湾内の潮が引き参道が姿を現す干潮時のみ徒歩で渡ることができ、自然の神秘を感じられるパワースポットとしても注目を集めています。

小島神社は、限られた時間にしか参拝できない神社として、時代を超えて人々を魅了する場所となっています。



日本遺産とは

地域の歴史的な魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産 (Japan Heritage)」として文化庁が認定するもの



自然と歴史を楽しむ体験プログラム

内海湾から原の辻への古代航路を体験できるシーカヤックや小島神社を一周する遊覧船(伝馬船)を楽しむことができる

問合せ 壱岐市観光連盟 ☎0920-47-3700

問合せ 県の文化振興課 ☎095-895-2762

日本遺産 国境の島

検索